

(仮称) 松林地区地域集会施設等複合施設整備事業意見交換会 (第3回目)

日時：令和5年1月29日(日)10時00分から

場所：茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室3・4

出席者：市民自治推進課長、市民自治推進課主幹、市民自治推進課課長補佐、市民自治推進課担当3名、資産経営課長、福祉政策課課長補佐、高齢福祉介護課担当、建築課長、建築課主幹、建築課課長補佐

来場者：10名

○司会

こんにちは、意見交換会へお越しいただき、誠にありがとうございます。

本日、司会進行を務めさせていただきます茅ヶ崎総務部市民自治推進課課長補佐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。開会に際しまして、いくつかご案内がございます。

現在茅ヶ崎市では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、会議等の開催に当たりましては、消毒液の設置等に取り組んでおります。本日会場にいらっしゃる皆様におかれましても、マスクの着用等にご協力いただきますようお願いいたします。

【資料確認】

また、緊急時連絡票を配布させていただいております。こちらにつきましては万が一本会場から新型コロナウイルスの感染者が出た場合、保健所等へ皆様の連絡先等の情報提供させていただく場合がございますのでご了承ください。

退室の際に机の上に置いて、ご退室をいただければと思います。よろしくお願いいたします。最後に、本会の概要の作成、公表のため、本日録音させていただいておりますのでご了承ください。本日いただいたご意見につきましては、他の日程での意見交換会のご意見、パブリックコメント手続きのご意見などを踏まえて対応を検討して参ります。最終的な市の対応方針につきましては、意見交換会概要とあわせて公表させていただくことを予定しております。本日の意見交換会、質疑応答を含めまして、概ね1時間半程度を予定しておりますのでご協力いただきますようお願いいたします。

では最初に、市民自治推進課長よりご挨拶させていただきます。

○市民自治推進課長

改めまして皆様おはようございます。

本日は、日曜の朝からお集まりいただきましてありがとうございます。市民自治推進課で課長をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今日ご説明させていただきます松林地区の地域集会施設につきましては、12月の市議会の定例会で議会の承認をいただきまして、市内で12館目の地域集会施設として、松林地区に建設をさせていただくべく、令和5年1月より準備に着手をしているところでございます。

昨日は松林地区まちぢから協議会が主催した市民集会を開催していただきましたが、その中でも、このコミセンが開設された後の地域の取り組みには、期待のご意見を頂戴したところでございます。

市といたしましては、このようなご意見を受け、しっかりと整備を進めて参りたいと考えてございます。本日もお集まりいただきました皆さんに、今後の松林コミセンの整備を進めるに際して、基本となります。(仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備基本計画素案の概要をご説明させていただきます。より良いコミセン整備となるようご意見をいただきたく、この意見交換会を開催させていただいております。

限られた時間ではございますが、有意義な時間となりますよう、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会

それでは、議事に入る前に出席者を紹介させていただきます。

【市職員紹介】

○司会

それでは、議事に入ります。次第の(1)地域集会施設、地区ボランティアセンター及び地域包括支援センターについて、また、(2) (仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備基本計画素案について、市民自治推進課よりご説明いたします。

説明が終わった後、質疑応答のお時間とさせていただきます。

○市民自治推進課担当 A

それでは市民自治推進課より、地域集会施設、地区ボランティアセンター、地域包括支援センターの各施設の役割等についてご説明いたします。

配付資料①のスライドの資料をご覧ください。こちら2ページの目次に沿って、各施設についてご説明いたします。

まず3ページをご覧ください。地域集会施設でございますが、地域集会施設は、コミュニティセンター、通称コミセンと略されております。以降、地域集会施設はコミセンと略させていただきます。コミセンはサークルや団体等の地域住民の自主的活動の推進を図ることを目的としている施設でございます。また、地域課題の解決に取り組むコミュニティである、まちぢから協議会等の協議の場、活動拠点でもございます。

4ページをご覧ください。コミセンの歴史についてですが、1984年、昭和59年に市内第1号のコミセンである浜須賀会館が、市内松が丘に開設されまして、直近では2015年、平成27年に11館目である松浪コミセンが、市内常盤町に開設されております。

5ページをご覧ください。こちらの地図の通り、現在市内13地区のうち、11地区にコミセンが設置されております。また、公民館につきましては、星印の市内の5か所に設置されております。

6ページをご覧ください。その公民館とコミセンの違いについてご説明をいたします。設置目的や運営手法と記載しておりますが、利用される皆様にとってはなかなか違いが難しいと思いますが、簡単にご説明しますと、7ページをご覧ください。

公民館は社会教育法に基づき設けられた地域住民のための社会教育施設、学びを中心とした活動の拠点でございます。一方コミセンですが、地域住民の自主的活動の推進を図る施設として、学習目的ではなくても、地域活動のために集える拠点という部分において、公民館とコミセンは異なっておりますが、基本的には利用団体の皆様や活動される方にとっては、利用方法等は大きく変わりはありません。

8ページをご覧ください。施設の管理運営におきまして、公民館は市職員が配置され、市が直営で管理を行っておりますが、コミセンにつきましては既存のコミセン11館いずれも、自治会や地区社協、民児協や青少年育成推進協議会、PTA等の地域の各団体で構成されました、管理運営委員会やまちぢから協議会といった団体が指定管理という制度で管理運営を行っております。

地域の団体で管理することにより、その地域に合ったより自由度の高い管理運営が行えるメリットがございます。また、利用の受付等の事務につきましては、管理運営委員会やまちぢから協議会の委員以外のスタッフを、地域住民の中から、その施設規模に応じて雇用しております。

9ページをご覧ください。コミセンの機能につきまして、一番新しい松浪コミセンを参考にご説明をいたします。松浪コミセンは、1階に複合施設である子どもの家、ボランティアセンター、地域包括支援センターが複合化されております。その他にも、広いフリースペースやカフェが設けられております。2階にはホール、会議室、音楽室、和室、調理室が整備されております。

10ページをご覧ください。こちら松浪コミセンの例ですが、会議室ではサークル活動や団体等

の会議、和室では親子でのヨガ教室なども実施されております。

11 ページをご覧ください。一番広いホールでは会議だけではなく、社交ダンスやフラダンス、太極拳、卓球、スポーツ吹き矢など様々な事業が行われております。調理室では蕎麦打ち体験なども実施されており、多くの地域の方々が多世代で交流することにより、様々な繋がりが生まれております。

12 ページをご覧ください。こちらは平日午後の1階カフェやフリースペースの様子です。カフェは高齢者の方が集まってお茶をしたり、一方でフリースペースでは小学生が遊んでいたり、中高生が勉強していたりと、世代を問わず多くの方が利用しております。会議室やホール等の貸し部屋は、団体登録をして事前に予約をしないと利用できませんが、フリースペースやカフェ等は誰でもふらっと利用できる場所となっております。

13 ページをご覧ください。利用方法につきましては、先ほどご説明したフリースペースやカフェなどは予約なしで利用できますが、会議室やホール等の貸し部屋につきましては、事前に団体の利用者登録を行い、登録後に直接窓口での申し込みですとか、公共施設予約サービスを利用して申請を行います。施設の使用料は無料となっております。以上がコミセンのご説明となります。

14 ページをご覧ください。続いて、地区ボランティアセンターの説明をいたします。地区ボランティアセンターとは、地区社会福祉協議会が運営しており、日常生活の困りごとなどを気軽に相談できる、住民同士の身近な相談窓口となっております。本人または家族が、高齢・病気・出産・育児などの理由により日常生活に支障があり、支援を必要とする方のちょっとした困り事に対する手助けなど、同じ地域にお住まいのボランティアの皆さんがお応えしております。

15 ページをご覧ください。こちらはボランティアセンターに寄せられる依頼の一例として掲載しております。施設や作業所の行事のお手伝い、保育などの見守りのお手伝い、一人暮らしのお年寄りの話し相手、こちら囲碁や将棋などの相手も含まれます、散歩の付き添い等の外出支援、草取りや低い木の剪定、掃除や洗濯、電球の交換などの簡単な修理、その他、ごみ出しや買い物などなど様々な支援を行っております。支援の内容や利用料金は地区によって異なりますので、まずはご相談をお願いいたします。

16 ページをご覧ください。続いて地域包括支援センターについてご説明いたします。地域包括支援センターとは、高齢者等の地域住民の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に必要な援助などを行うところがございます。また、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域包括ケアの推進に向けた中核的な機能を果たす機関でもあります。高齢者やその家族からの相談について、保健師や看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士の三職種がチームとなって連携し、保健・医療・介護・福祉など様々な面から皆さんの生活を支えております。

詳細はお配りしております「高齢者のガイド」をご覧ください。

17 ページをご覧ください。地区ボランティアセンター及び地域包括支援センターは市内全13地区に設置されております。

各施設の概要の説明については以上でございます。

○市民自治推進課主幹

今お手元にお配りしております、こちらの(仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備基本計画素案についてご説明をさせていただきます。

地域集会施設は通称コミセンと言われておりますので、ここからはコミセンとして説明をさせていただきます。この計画は本市で12館目となります。コミセンを松林地区に整備するための諸条件や方向性をまとめた計画でございます。

1 ページをご覧ください。これまでの経緯といたしまして、中段に記載をしておりますように、松林地区で活動されている様々な団体の皆様が組織されております松林地区まちぢから協議会を通じまして、松林地区のコミセンの建設について、平成20年、2008年より15年にわたり、ご要望をいただいている状況がございました。

この間に松林地区まちぢから協議会の皆様は、自発的にコミセン研究会を発足され、松林地区に望ましいコミセンについて検討を進めていただいております。

続いて3ページをご覧ください。こちらには、本市でこれまで整備いたしました11館のコミセンの開設の年であるとか、大きさがございます。また利用の制限をしている状況ではありましたが、令和3年度の利用人数の情報をお示ししております。松林地区にこれから整備をして参りますのは、本市で12館目となるコミセンでございます。⑩の松浪コミセンの状況を参考にしながら、今後整備を進めて参ります。

続いて5ページをご覧ください。松林コミセンがどのような理念を持って整備を進めていくのかをまとめてございます。松林コミセンは地域活動の拠点としての役割だけではなく、様々な年代の皆様が気軽に訪れていただき、来訪者同士が交流をして、それをきっかけに、お互いを支え合う心であるとか地域への愛着を育む施設を目指して整備を進めて参ります。

基本方針として、①の市民の交流、②の文化、学び、③の健康、スポーツ、④の福祉、この4つを柱としております。

8ページをご覧ください。こちらに記載をいたしましたように、地域福祉の拠点として、現在赤羽根にございます地区ボランティアセンター、ふれあい支え合い松林サポートセンターと、高田にございます地域包括支援センターくるみをコミセンに移転しまして、複合化施設として整備を進めて参ります。

続いて11ページをご覧ください。整備予定地といたしましては、市営高田住宅の二階建て棟の跡地、南東側の敷地、1,500㎡に2階建て、床面積1,500㎡を上限といたしまして整備を進めて参ります。

開館後の管理運営につきましては、13ページをご覧ください。こちらに記載の通り、松林地区まちぢから協議会に指定管理者として担っていただくことを想定しております。

最後に、今後の予定でございますが、これまで近隣住民の皆様を対象とした説明会を3回実施しております。また、この基本計画に関する全市民を対象とした意見交換会を、本日、今回を含めて3回開催しております。

また、基本計画素案に対するたくさんのご意見をいただきたく、1月27日の金曜日から3月7日の火曜日まで、パブリックコメントを実施いたします。

こうしたところで皆様からいただいたご意見を踏まえまして、この基本計画を策定し、この計画を基に、令和5年度には設計を進めて参ります。

以上簡単ではございますが、(仮称)松林地区地域集会施設等複合施設整備基本計画素案についてご説明をさせていただきました。よろしく願いいたします。

○司会

説明は以上となります。続きまして質疑応答を行います。ご質問のある方は挙手をお願いいたします。職員がマイクをお持ちしますので、お名前を申されてから発言をお願いいたします。ご質問ある方。

○住民A

おはようございます。ご説明ありがとうございました。ちょっと最初にお聞きしたいのですが、私は個人的な都合で地域の説明会に出られなかったのですが、地域の説明会と今日は、基本的には同じご説明をされているという理解でよろしいですかね。

○市民自治推進課長

説明の内容は同じような内容になってございます。

○住民A

ありがとうございます。松林公民館が今あって、そこには今、地域集会施設の機能があるという

理解ですけれども、それで合っていますか。

○市民自治推進課長

松林公民館につきましては、先ほどもご説明差し上げましたように社会教育の施設でございます、活動の目的が教育活動ということです。サークル等の活動についても、自身の団体が、自分たちがより良く生きるために、皆さんと何か学びを主体として活動いただいている団体ということになりますので、コミセンと公民館、最初の説明で使いました資料1にも書かせていただいております通り、設置目的が異なっております。

ご利用されている方にとって一番わかりやすいのは、公民館には社会教育主事などの市役所の職員が常駐しておりまして、市民の皆さまに教育の機会の提供をする施設になっております。

ただコミュニティセンターは、教育だけではなくて、ふらっと皆さんが足を運んでいただいて、地域の方と交流していただく、地域の情報を得るためにそこに行っていただくというような目的もございます。そもそもの施設の設置目的が異なっています。ただ、サークル活動をされている方は、どちらの施設もお使いいただくことができますので、活動の幅が広がります。

松林公民館は今すごく利用していただいている方が多く、施設利用率も他の公民館より高い状態にありますので、予約が取りづらかったサークルの方たちも、コミセンができればどちらもお使いいただけるので、活動の幅が広がるのかなと考えております。

○住民A

松林公民館は基本的には今のまま残るということですね。

○市民自治推進課長

その通りです。

○住民A

使用目的ですけれども、災害時とかは何か想定されていますか。

○市民自治推進課長

ご説明させていただいたように、こちらは地域の方に管理運用していただく施設としてお造りしようと思っておりますので、今の段階で、災害拠点としての位置付け等はありません。ただ、過日に説明会等を開催させていただいた段階でも、是非そういう目的を持つ施設にして欲しいというご意見をいただいておりますので、この後、市の防災部局等も含めて相談して参りたいと考えております。

○住民A

ありがとうございます。工事の実施の要領ですが、工事の場所は朝に室田小学校への通学の経路になっています。資料の地図の右の既存道路境界線と書いてある、その右側の通りを小学生が歩いていく所なのですが、この工事の日々の予定というのは、何時に始まって何時に終わるのかなど。

○建築課長

学校に近い場所での工事は、今公共施設でも、学校の工事もあるのですが、大体8時40分ぐらいから業者さんは入場してもらっている形をとっています。あと、どうしても早くからやるときは8時前だとかということですのでさせていただいて、終わりが17時ですね。17時に終わってちょっと片付け等で18時ぐらいの具合でやっています。

土日は基本的に休みで、学校が近ければ工事が始まる前にお知らせして、通学路に影響とかある

のであれば、学校からまた保護者の方にお知らせさせていただいている状況でございます。

○住民A

毎日、小学生の帰宅の時間には工事がされているということだと思っておりますが、その際の安全対策をちょっと確認したかったのですが。

○建築課長

建設工事が始まる前に、まず解体工事から始まります。5階建て棟の市営住宅は残すのですが、線引きされているところの下の部分の2階建ての建物は解体します。この工事となりますけど、いずれにしても車両の出入りがありますので、ガードマンをつけて車両は誘導することを考えております。

○住民A

わかりました、ありがとうございます。最後に1個だけお願いですけど、ポストを設置することって可能でしょうか。

○市民自治推進課長

同じようなご意見を、やはり過日の説明会でもいただいております。これから施設整備に向けていろいろ検討して参りたいと思います。

○住民A

はい、ありがとうございました。以上です。

○司会

他にご意見ご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。

○住民B

今、市営住宅の西側に住んでいる者ですけど、今回、素晴らしいコミュニティセンターの建設というのでとってもいいことだと思っておりますが、土地利活用用地の残りの土地があります。コミセンは右下の方にできると思いますが、残りの土地をどうするのが余りにも不透明すぎます。今までここに住んでいた方とかも確か3年前ぐらい前にみんな転居をして、ずっとほったらかしでした。誰に聞いても何ができるかわからない。今も来てみたら、右下の方に建設しますって、残りの土地はまだわかりません。どうするのかというのが不透明すぎてわからないところです。もうちょっとクリアに教えていただけると、近隣としてはすごく助かります。

○資産経営課長

資料の11ページのところで、土地利活用用地4,330㎡につきましては、平成30年4月に私どもで策定いたしました公共施設整備再編計画の中では、段階的に売却をさせていただくという形でお示しをさせていただいているところではございます。

今回、今後の右下の部分の解体工事、建設工事になると、並行して検討を進めていかなければいけないと思っておりますが、まず公共施設等での利用が可能なのかどうか、そういったところを、庁内部局、また地域住民の皆様の意見もお伺いしながら検討して参りまして、本当に売却するのかということも、いろいろ慎重に検討していく必要があると考えているところでございます。

今の段階ではどのような形で、利活用を図るといったところはまだ決定していないような状況でござ

います。

○建築課長

建築課から補足でご説明させていただきますと、土地の利活用の関係ではございませんけども、今3年ぐらい前に皆さん出られたというお話だったのですが、正しくは今年の9月末まで入居者がいらっしやいまして、その方が転居されて、この計画をちょっと早めに進めようということで市が決定させていただいた施策でございます。

もし、その維持管理に関して不具合等がありましたら、建築課の方に連絡いただければ、こちらで対応できることは対応させていただきますので、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

○司会

よろしいでしょうか。他にご質問がある方いらっしやいますでしょうか。

○住民B

その住民がいるとか、バリケードもしているし、人が入れないようにね。それで人がいるとか、多分おばあちゃんが1人いるのかな。そういう状況ですよ。もう雑草がぼうぼうで、公園もあるけど誰も使えない、子どもたちも遊べない。そういう状況で使えますって、そういうのがまかり通るのかなと思います。

管理しているのだったら管理してくださいよ。やるのだったらやるで。放置しているのだったら、放置しているというのは認めていただかないと。とても管理していますよと言える状況じゃないですね。子どもたちが何か事件に巻き込まれたりしたら、どう説明するのかなというのは、正直なところですよ。もうちょっとクリアにさせていただけると助かります。

○建築課長

まず建築課から。9月には誰も住んでないという状況で、草も確かにぼうぼうだったりとか、不法投棄があつたりとかで、対応できる時期には対応はしているのですけども、やはり草なんかですと伸びてきてしまいます。あと、今入れないように、仮ですけどもロープで封をさせていただいています。不十分かもしれませんが。ちょっとご意見いただいたので、強化できれば強化していきたいということで考え直しをさせていただきます。

○司会

よろしいでしょうか。では他にご質問ご意見ある方いらっしやいますでしょうか。

○住民C

松浪コミセンの建設費があまりに大きな金額なので、びっくりしました。松林コミセンについては、時期的にさらに上回るようになっていくのかなと思っています。この松浪コミセンの金額は、当初から予定されたものでしょうか。既存の公共施設などを見ても時期的に早まったことはない、安く上がったことはない、というのは現実だと思います。

この松浪コミセンが、もしオーバーしたのであれば、そのオーバーした金額の割合はプラスしないと、松林コミセンもできないのではないのかなと思いました。お金の心配をしているところですけども、設計費にしましても、こんなに掛かるのだということですけども、現在の市の若い職員の方の有能なことには、普段から舌巻いており、目を見張るものがあります。これはお世辞ではなくて、民間から来た方などは相当な能力、ノウハウを持って入ってこられたと思います。お世辞を言うのではなくて、叱咤激励してこういう人達を使い切って、こういう部分を少しでも抑えながら、骨太の華美にならない松林コミセンを作っていただければと思います。まずはお金の心配でございました。

○市民自治推進課長

お金の心配ということでありがとうございます。今、資料2の3ページに既存の地域集会施設の一覧をお示しさせていただいておりますけれども、地域集会施設につきましては、これまでも多くの地域集会施設を建設してございますので、大体このくらいかかるという概算の見込みは立つ状況でございます。

今回の松林地区のコミュニティセンターの建設等の費用につきましては、同じ冊子の12ページに書かせていただいておりますが、建設費の概算金額についてコメントを書かせていただいております。平成26年に松浪地区のコミュニティセンターを建設しております。そのときの費用に、直近の物価の上昇等の費用も反映して算出させていただいておりますので、大体このくらいの金額で間に合うのではないかと計画をさせていただいております。

設計等についてもご意見をいただきましたので、これから建築部局とも話し合いをしていきたいと思っておりますが、末永く本当に大事に使っていただきたい施設ですので、きっちりと設計もさせていただき、建設した後に、いろんなところに不備ができないような状況で整備を進めて参りたいと思っておりますので、費用につきましては大体ここに見込んだ金額が掛かるものと考えております。

○住民C

ありがとうございます。この数字、松浪コミセンに掛かったお金とちょっと読み間違えをしまして、私の勘違いでした。ありがとうございました。

○建築課長

費用について、万が一予測してない事態になって、例えば物価がものすごく高騰してしまったとか、今よくあるのは、建設地にあってはいけないようなものがあつた場合には撤去費だとか、緊急なお金が出る場合がございます。

そういう時にしましては、予算を再度編成し直して、工事中であっても予算を増額して、工事を進めるということをやっていきまされたので、これからもそういう形で、増額が必要であれば予算を要求して、建設費は確保していくということでございます。

○司会

他にご意見ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

○住民D

先日、松林公民館でお話聞きまして、なかなかわからなくて、今日も再度来させていただいて質問させていただきたいと思っております。

4点ありまして、1つはコミセン設置後の利用率をどのくらい予測してらっしゃるのかということですね。ちなみに茅ヶ崎市の令和3年度のデータがホームページに載っていたので、見ると50%に達していませんよね。今、市が計画しているコミセンの利用率のどのくらいを想定していますか。松林コミセンはどのくらいの利用を想定しているのか。そのギャップがあつた場合にどういうふうな対策を、市とコミセンとの関係の中で作り上げていくのかについて教えてください。

上物を作って、これも10億円ぐらいかけて作っていくものなので、上物を造るのはいいけど中身ができてないという、現実がいくつかありますので、その辺について1つ教えていただきたい。

2点目は、駐車場の大きさですね。結構遠方から来る人が多くなりますので、駐車場の確保、今流行りの駐車料金を自動的に取られるパターンになると逆行する形になると思っておりますので、その辺の運営方法について教えてください。

3点目に、コミュニティカフェについて、今度設置する場所というのは、周りにお店が無いんですよね。他のコミセンは結構あるのですが、その辺のところを考えると、或いは、コストを考えていくと、中にコンビニが1つあつて、あと飲んだり食べたりするスペースだけで十分じゃないかな

という。あまりてんこ盛りにしてしまうと、或いは、これも市の方がいらっしゃる中で恥ずかしいのですが、市役所の1階の喫茶店はコスト高いですね。一般市民から言ったら、ポツと入って使うための費用とすると、1,000円くらい掛かってしまいますね。コミセンにはそんなに持っている方はいないし、子どもさんもいらっしゃるっていう点を考えると、もっとコストを考えて、リーズナブルな対応を考えていただければと思います。

最後に、概算費用のところ、管理運営費の中にメンテナンス費用とかいうのは、入っているのでしょうか。そして、この管理運営費は市が負担するのですか。それともコミセンの方でプールしてお支払いするのか。

以上、4点お教えてください。

○市民自治推進課長

ご質問ありがとうございます。コミュニティセンターにつきましては、先ほど松浪の施設の概要をお示しさせていただきましたと思います。基本的に様々な機能を持っておりまして、誰でも自由に入れるフリースペース、その他会議室を用途や使っていただく人数ごとに設置していますが、この一番大きなホール等の利用率は、今コロナで利用人数を絞ってしまっているのですが、ご覧いただいている利用率は少し低い状態になっているのですが、大きい会議室の利用率、コロナ前であれば8割近くがご利用いただいております。

会議室の大きさによって使いやすかったり使いにくかったりということがございますので、松林地区のコミセンに関しましては、できるだけこの可動間仕切りを使って、部屋の大きさが変えられるような仕掛けで作っていきたいと考えています。

今、皆さんお座りいただいている部屋も、真ん中が可動間仕切りになっておりまして、小さい会議であれば、この壁を閉じた状態で、2つの部屋に分けて2つのグループにお使いいただくことができますし、来ていただく人数が想定できない本日のような会議ですと、間仕切りを開けて大きなお部屋を用意するという形をとっています。そのような使い勝手のいいものにしていくと、既存のコミセンよりも利用率が高くなるかと思っております。

令和3年度のコロナ禍での利用人数、3ページのコミセンの一覧のところでお示しさせていただいております。松浪コミセンでは39,000人の利用なのですけれども、コロナ前ですと倍以上の方がこの施設をお使いいただいておりますので、松林地区におかれましても、今の公民館の活動状況を見させていただくと、これよりも多い利用人数が見込まれるものと、市としては想定しています。まずは利用率に関してのお答えです。

○住民D

令和4年のデータでは1日あたりで132人ぐらいですね。それ以前だと219人ぐらい。人数的にはそんなに多くない。あと利用率からいうと、松浪の方で47%ぐらいなので、市全体として、どのぐらいを目標として考えているのか。あと、松林の方ほどのぐらいなのか考えていますか。

あと説明があった、パーティションを変えられるっていうけど、申し込みの入力のパターンがそこまで配慮されたものになっているのかについて、教えていただきたい。

○市民自治推進課長

申し込みの入力については2つの部屋をご入力いただくと、両方お使いいただけるようになっておりますので、予約はできます。

利用人数も、午前中、開館からお昼までが1つの団体でお使いいただくようになりますので、その団体が10人ですと、午前中の利用者はその部屋を10人というカウントになります。なかなか人数だけではカウントがしづらいのかということとはございます。ただ、1日130人ですと、ほとんどの部屋は埋まっている状況かと想定がされますので、利用率に関しまして、目標といたしましては

せっかく造るので、毎日全ての部屋が稼働していただきたいです。しかし、特に調理室等を造りますと、1日に1つの団体しか使えないという状況になる場合や、和室もそうなのですが、お茶会等を開いていただきますと、1つの団体しか使えないという状況があつて、当然目的ごとの部屋を作ってしまうと、稼働率は悪くなるという状況もあります。

その点も踏まえて、いろんな方にいろんな用途で使っていただけるような、居室の構造を考えてこれから設置していきたいと思っておりますが、利用率につきましては、7割8割を目指して運営していただきたいなどは考えてございます。

次のご質問、駐車場でございますけれども、駐車場の台数につきましては、施設の規模に応じて何台程度造らなければいけないというものがございまして、これから建設させていただく施設の大きさに合わせて、駐車場の台数はご用意させていただこうと思っております。

ただ、全体の敷地として1,500㎡でございますので、駐車場の台数を多くして駐車場を広くしますと、施設が小さくなってしまうということになりますので、その辺を両方の状況を見ながら、設計の方はしていきたいと思っております。

もう1つ、コミュニティカフェのご質問をいただきました。カフェが併設されているコミュニティセンターは、11館のうち松浪コミュニティセンターだけになっています。松浪コミュニティセンターのカフェはボランティアの方が運営をしておられまして、ボランティアですので、そこを運営している方々には賃金が生じていません。皆さんがそれを楽しんでやっていただいているという状況になっています。そちらのご利用いただく費用につきましても、ランチ等は、例えばカレーが毎日食べられるようになっているのですが、カレーは400円で食べることができます。

特別に定食のようなランチを作っている時もあると、それは火曜日と土曜日ですが、1食600円でご提供いただいております。またコーヒーは250円で飲むことができます。

これはボランティアさんの運営による価格ですが、地域の方が使いやすいように、どのような運営をしていくのかというのは、皆さんで考えていただきたいと思っております。

カフェ等が併設されていない施設につきましても、コミセンの入口でキッチンカーを呼んで、お弁当を食べていただける期間を設けている例や、月に何回か地元の方が野菜を持ち寄って、朝市等を開いていただいて交流していただくみたいなことで、お店ということではないのですが、賑わいの創出に努めていただいている施設は多くございます。

最後、管理運営費のご質問をいただきました。管理運営費については、地域ではなくて市の予算の中で支出させていただいております。指定管理制度を用いまして、4年や5年など、期間を区切ってその間の概算の費用を算定しまして、地域の皆さんに運営をしていただいております。メンテナンス等の費用は含まれておりますが、設備の修繕等については、修繕の大きさによって、市との話し合いをさせていただきながらやっていただいておりますので、地域住民の皆さんが費用を負担するというような状況がございません。

○住民D

駐車場なのですが、松浪は何台ぐらいあるのですか。

○市民自治推進課長

松浪は一般の利用者が使える駐車場は3台。近隣の皆さんがお使いいただくという状況が多いので、なるべく車ではない交通手段を使ってくださいというアナウンスをさせていただいている状況です。

○住民D

まちぢから協議会の方は、赤羽根の方から来る方もいらっしゃいますよね。今回の設置場所ってあんまり交通の便がいいとは言える場所ではないですよね。その辺は納得されているのですかね。

○市民自治推進課長

松林コミセンについては、駐車場の台数が3台って決まっている訳ではないので、これから設計をする中で、どのくらい駐車場にスペースをとるのか、施設の規模をどうするのかは話し合いをさせていただきたいと思います。

松浪のコミュニティカフェですが、ボランティアと申しあげましたけれども、有償ボランティアということなので、賃金には満たないですが、幾ばくか謝礼のようなものをお支払いしつつ、運用しているということです。ご説明追加させていただきます。

○司会

よろしいでしょうか。他に何かご質問ご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。他にございませんかよろしいですか。

もしよろしければ、これにて本日の意見交換会を終了させていただきます。皆様本日はお忙しい中ご参加いただきまして、ありがとうございました。